

3月29日 バスツアーに行ってきました！！

3月29日（土）は、よく晴れたバスツアー日和の一日でした。お施主様、工務店様、従業員合わせ30名で東京ビッグサイトへ行って参りました。途中、羽田空港内のホテル「羽田エクセルホテル東急」にてランチビュッフェで昼食をとりました。間近で離着陸する旅客機を見ることができ、子供たちも大喜びでした。その後、東京ビッグサイトの「住まいの耐震博覧会」に向かいました。広い会場は全国からバスで来た多くの人達でとても賑わっていました。それぞれ、お目当ての展示ブースを見学し、有意義な時間を過ごしました。ご参加下さった皆さま お疲れさまでした。

ありがとうございました。



島田市O様邸 ウッドデッキが完成しました。

2月に完成、お引渡しをした島田市のO様邸にて1階リビングの南側にウッドデッキを造りました。「セラガンバツ」という東南アジアが原産の木材を使用しました。インドネシアの言葉で「バツ」とは石を意味する言葉でその名の通り、石のようにとても硬く、水に強く、屋外でも20年以上腐らないと言われています。



お子様たちも、大喜び。これからの季節ウッドデッキが活躍しそうですね！



（株）ナガイ 島田市牛尾510-2 Tel (0547) 45-3501

木くぼり

木がつくる住環境 音編 ②

No. 128

発行 '15 - 5月号

株式会社 ナガイ内
住まい教室 金谷教室

音をまろやかにする「木」

コンサートホールは、何よりも良い響きが要求されます。響きで最初に注目されるのが、残響時間です。残響時間が短いと音がすぐに途切れ、長すぎるとつぎつぎに演奏される音の響きが重なり合い、音が不明瞭になってしまいます。

残響時間は内装材料の吸音率で計算されます。木造は適度の吸音率があり、木造の音楽ホールは聴感調査で、最適残響音であると判断されています。また、木造の音楽ホールは、音に良く反応し、音をまろやかにすると好評です。



東京パレティウムコンサートホール



ハケ岳高原音楽堂

天然木を使用したコンサート専用ホール

楽器と「木」

木材は振動しやすく、振動を適度に吸収し、共振が鋭くないという音響的性質を持っています。この性質を生かして、さまざまな楽器に木材が使われています。楽器に木材を用いると、音の立ち上がりがよく、音がよく伸び、暖かみのある音色になり、「木」ならではの音色になります。

